

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 022号

産業カウンセラーは人生の転機

印南 桃子さん

会社名：公益社団法人日本てんかん協会【支援相談員】

株式会社リクルートスタッフィング【就業支援フォロー】

資格：産業カウンセラー



【受講のきっかけ】

元々心理カウンセラーとして日本てんかん協会にて相談員の仕事をしておりました。そこで、仕事や今後の人生に悩む方々が多いことに気づき、産業カウンセラーに興味をもったことが始まりでした。

AI化が進んでいく中で、人々の生活は豊かになる一方、メンタル不調者が年々増加傾向にあり、私ももっと幅広い分野でお役に立ちたいと日に日に思いが強くなっていきました。当時妊娠中だったこともあり、通信講座なら子育てしながら自宅学習が可能と考え、産休・育休を有効活用出来ると思い、通信講座の受講を決めました。

【資格取得後の活動状況】

養成講座を受講して最も良かった点は2つあります。1つ目は、かけがえの無い一生の仲間が出来たこと。17人皆年齢も経歴も様々なのに、不思議と昔から一緒にいたような、まるで家族のような暖かさや安心感があります。卒業した今でも、毎年BBQや飲み会等をし、会うと心が浄化されるカタルシスを感じる事が出来ます。仲間達全員が全員を尊重し、受容しているからこそ、今も尚この関係が築けているのだと感じます。

2つ目は、自己理解・自己分析を深めることが出来たこと。卒業してからも、「今ここ」自分の気持ちに寄り添うことでセルフメンタルコントロールが出来、感情の起伏が無くなったように思います。スクリーニング講座の中で、「過去の自分と向き合う授業」があり、自分の思考傾向や奥底に閉まっていたトラウマと向き合い、自己肯定することが出来ました。その授業の帰り道、とても空が青く澄んでいて、生まれ変わったような不思議な感覚だったことを今でもハッキリ覚えています。

以上の2つから、産業カウンセラー養成講座の受講は、私にとって「人生の大きな転機」となりました。

資格取得後は、日本てんかん協会にて支援相談員を継続しつつ、人材派遣事業の㈱リクルートスタッフィングにて派遣スタッフの就業フォローをしております。てんかん協会では「てんかん」の発作、治療方針、医師との関係性、学業や仕事と治療の両立等様々な問題に悩まれている患者様とご家族に向けた相談支援を行っています。また、リクルートスタッフィングでは、派遣スタッフの就業先企業に訪問し、スタッフ状況の確認、相談内容のヒアリングをし、企業担当者様へ改善策のご提案・実施をし、スタッフが継続的に安定就業できるようフォロー支援を行っております。

両社異なる分野でワークシェアを継続していく中で、「ダイバーシティ」が当たり前の世の中になってほしいと強く感じるようになっていきました。多種多様な方が一緒に働くことの価値を見出し、女性の活躍の促進、持病、介護、障害者等のハンディを持つ方が働きやすい風土づくりを更に広め、働き方改革、就業機会の創出を促していきたいとの思いがあります。

私の今後の目標は、「社内・社外カウンセリングの実施・メンタルヘルス対策を強化」し、今以上に社員・スタッフ全体が生き活きと就業できるよう心のサポート業務に携わりたいと考えています。社内・社外問わず「悩み事は印南さんに聞いてもらいたい」と思っていただけのような心のスペシャリストになるべく今後も邁進していきます。

尚、産業カウンセラー養成講座で出会った仲間達と傾聴ボランティアを始めました。ご興味がお有りの方は是非アクセス頂けると嬉しいです。

☆ここからはね（傾聴ボランティア）<http://www.toride-sks.jp/group.php?mode=detail&code=107>

メールアドレス:y.yoshida@kokoronohane.org(代表:吉田)